

みんなの競輪杯 川崎区制50周年記念レース



7/2(土) 3(日) 4(月) FII 川崎競輪 川崎スポーツ

レース展望

7月2日からの川崎競輪は川崎区制50周年、みんなの競輪杯として行われるナイター開催のF2戦。7月に入り新しい期となり、前S級の実力者や将来有望な若手機動型の力関係を見極めることが車券戦略の鍵となりそう。チャレンジ戦では121期の新人選手が新人戦を経て本格デビュー戦となり、見所の多いシリーズとなる。

1、2班戦の主力選手としてまず挙げたいのは新村穰(神奈川119期)だ。地元ホームからのあっせんは新村だけで、活躍に期待がかかる。前S級の柴田竜史(静岡96期)らは揃っているが、援軍が手薄なこの地元戦で新村が

しっかり結果を残せるか真価が問われるところ。最大の難敵は同期の木村皆斗(茨城119期)だろう。抜群の機動力を持つ木村が今シリーズの優勝候補として最有力。この木村や積極的な秋本耀太郎(栃木117期)を目標にできる星野辰也(栃木95期)が決め脚發揮する場面もありそうで、関東ラインの台頭は十分にありそう。北日本ラインは大駒こそ存在しないが、積極的な走りで力をつけている菊池翔(福島119期)や、昇班初戦となる佐藤啓斗(青森119期)、経験豊富な佐藤佑一(岩手92期)、金澤竜二(福島91期)といった面々が名を連

ね層は厚い。遠征勢の中心は5月に当地に参加してS級で決勝進出を果たしている堀僚介(大阪109期)の機動力。坂上忠克(石川71期)は5月の当地F2で登場した際に優勝しているし、山口聖矢(岐阜115期)もこのバンクを好走するイメージがある。

チャレンジ戦は岸田剛(福井121期)、滝本幸正(新潟121期)、南儀拓海(富山121期)、藤岡徹也(兵庫121期)のルーキー4名が本格デビュー。プロ選手としてのスタートを切る。今期降班した栗本尚宗(千葉113期)が南関の中心として迎え撃つ。

好メンバー揃い新期スタート



A級 主力選手 新村 穰 神奈川 119期

地元ホームバンクの新村穰が登場。学生時代から中距離種目を中心に競技で活躍してきた本格派。社会人を経て養成所に入り、デビュー戦では開催地の静岡市に賞金を全額寄付したことも話題になり社会貢献の意識も強い。レースのみならず色々な意味で今後の成長が楽しみな若手だ。本格デビューを果たしてから同期で一番乗りの昇班を決めた新村だが、その後前期の後半はヘルニアの手術や体調面でやや伸び悩んでいた。しかし近況は積極的な走りです調子を戻しつつある。師匠の小原大樹(神奈川95期)や兄弟子で大学時代の後輩でもある青野将大(神奈川117期)の待つ昇班に向けて飛躍を目指す。



A級 主力選手 木村 皆斗 茨城 119期

アマチュア時代から中長距離で輝かしい成績を収めてきた木村皆斗は、養成所でもゴールデンキャップを獲得するなど、高い素質と向上心を評価されてきた逸材。デビュー後も自力で勝ち切る走り続けて、昨年特昇班を決めてからも既に7度の優勝(6月22日現在)を飾っており、S級特進を目指すレベルに達している。多少強引にでも出切ってしまう強靱な地脚で逃げ粘るスタイルは迫力十分で、近い将来グレードレースで活躍する可能性は高いだろう。年齢も二十歳でまだデビューから約1年。伸びしろはまだ大であるし更に考え方、走り方の引き出しや、経験値が増してくれば今後の飛躍が楽しみになってくる。



A級 主力選手 堀 僚介 大阪 109期

新期からはA降級となる堀僚介。当地は5月に出場したばかりで、S級戦で決勝に乗っている。その開催で取材した際には「調子自体は悪くないし、S級でも流れに乗れば勝つたりもしているんですけどね。そのぶん大敗も多いから競走得点もなかなか上がらなくて」と話していたが、脚力的には問題はない。S級で競走得点を上げなければラインも長くなりづらいし、メンバーも厳しいレースに入りがちになる。大敗を避けられる組み立てや総合力を身に付ければまだまだ伸びしろは十分にあるはず。A級では上位のスピードを持つので、展開不問で中心には推せる。まずこのA級初戦で結果を出しておきたいところ。



A級 注目選手 栗本 尚宗 千葉 113期

1、2班戦で決勝に駒を進めており、バンクとの相性も良い。父は栗本啓志(62期・引退)で弟は武典(千葉119期)の競輪一家。昨年デビューしたばかりの弟、武典は初優勝を決めたばかりでめきめき力をつけている。降班初戦でルーキーを破り、兄としての意地を見せたいところ。

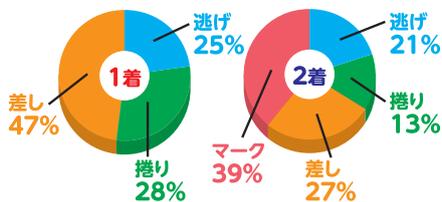


A級 注目選手 岸田 剛 福井 121期

今シリーズこの川崎で本格デビューする121期の新人レーサーは四名。そのなかでも最も注目されるのが岸田剛だろう。先日この川崎で圧倒的な強さを見せてS級優勝したダービー王の脇本雄太(福井94期)を師に仰ぎ、学生時代にはチームスプリントで国体優勝も果たしている。養成所時代にはゴールデンキャップも獲得している逸材だ。新人戦の二場所は決勝進出は果たせていないが、数字以上の評価が必要だろう。ナショナルチームを引退した脇本が身近に指導に当たられることも大きなプラス材料となりそうで、今後の成長が楽しみな新人選手。

川崎競輪場バンクガイド

直線が長く、最終4コーナーから直線にかけてイエローライン付近が強襲コースで外を踏める選手が穴を演出する。



俺にまかせろ! 川崎仮面の

開催中 毎日 OA!

YouTube

ニコニコ放送 NICO NICO LIVE



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル